

式辞

赤塚山の地も、寒さ厳しい季節から、春の気配が感じられる季節になりました。晴れの日を迎えられた十二回生のみなさん、卒業おめでとうございます。

この佳き日に、国立大学法人神戸大学 理事 副学長の奥村弘様をはじめ、多くの御来賓のみなさま、多くの保護者のみなさまに御臨席いただき、第十二回卒業証書授与式を挙行できますことは、本校にとりましてこのうえない慶びでございます。本校教育活動への、みなさまの深い御理解と心温まる御支援をいただき、この日を迎えることができました。高いところからではございますが、御礼を申しあげます。

本校は、神戸大学の理念である「真摯・自由・協同」の精神に基づき、社会を創造する知性を持ち国際感覚にあふれた人材の育成をねらいとした教育を行い、心豊かな人づくりの推進に寄与することを基本理念として、平成二十一年 二〇〇九年に神戸大学によって設立されました。「国際的視野を持ち未来を切り拓く、真理探究の精神に富んだグローバルキャリア人」の育成を目指し、「主体的に自己及び社会の未来を切り拓くことのできる生徒」、「国際的視野を持ち自他を認め合って行動できる生徒」、「真理探究の精神に富み新たな価値を創造する力を身につけた生徒」を目指す生徒像として、本校は教育活動を推進しています。

本日、晴れて卒業を迎えた十二回生ですが、そのスタートは混乱の中で切らざるを得ませんでした。十二回生が小学校を卒業する時期から、感染症の拡大が始まりました。その雲行きはどんどん怪しくなり、本校入学前の招集も、入学式も、中止せざるを得ませんでした。それでも、いつか始まるはずの十二回生登校に備え、入学式を行う予定であった四月八日に「新入生説明会」を行うこととしましたが、事態はその前日四月七日に初めての緊急事態宣言が発令されるに至りました。説明会の実施など論外、外出すらままならず、この状態がいつまで続くかわからない日々が始まりました。

私の教員人生で、新入生に対し入学式を行わなかったことはそれまでにありません。そして生徒がいない学校ほど、教員にとってつまらない場所はありません。新入生のことが入学適性検査の時の顔写真しかわからず、郵送物の発送でしか十二回生と関わりようがなかったあの時期、我々教員は苦しかった。しかし、本校に入学したのに仲間のことが何もわからないまま毎日を自宅で悶々と過ごすしかないみなさんが苦しいはずだ。そう考えて業務にあたっていました。

五月末に緊急事態宣言があげ、六月五日に簡素な「入学の会」をこの体育館で行うことができました。既に蒸し暑くなり始めていた時期によりやく十二回生のみなさんがそろったあの光景は、忘れることができません。依然として先を見通せない状況ではありましたが、やっとみなさんに中等生活のスタートを切らせてあげることができた、と少しだけ安堵の気持ちになりました。

それからも行動制限がかかった学校生活ではありましたが、六年間の在学期間中にマスクをはずすことができ、行動制限も緩やかになりました。その後の十二回生の活躍、学校文化の醸成への多大な貢献はいまさら指摘するまでもありません。

思い返してみてください。明日がどうなるかわからない中で、十二回生のみなさんが授業や学校行事等のあり方を教員とともに日々模索したことは、本校が生徒に望む「自己及び社会の未来を切り拓く」営みそのものであり、まさしく「新たな価値の創造」への挑戦でありました。感染症の拡大は決して楽なことではありません。

でしたが、そのような営みにつながったということは、我々がグローバルキャリア人に脱皮するチャンスを感じてくれていた、とも言えます。何かしらの出来事が起こったときに、それにどのような意味を付与するかは私達の側にある、ということ、あの暗中模索の日々は示唆しています。

AIの発達、少子化、その他従来の枠組みではとらえ切れない世界が今後展開していくことが想定されます。それらにどのような意味を見出し、対処していくか。これこそが未来を切り拓くグローバルキャリア人の視座です。本校在学中にその視座を身につけられた十二回生のみなさんは、今後の社会の中核、リーダーとしての活躍が期待されます。本校での学びを基盤に、今後数十年間にわたり社会で活躍されることを願っています。

保護者のみなさま、お子さまの御卒業、おめでとうございます。保護者のみなさまのおかげで、お子さまは今立派な姿になりました。お子さまは本校を巣立ち、これから世界をどんどん広げていきますが、その分だけ保護者のみなさまを頼る場面もたくさん出現します。何かがあれば戻って来れる場所として保護者のみなさまがいてくださることが、お子さまの活躍につながると存じます。引き続きの見守りを、僭越ながらお願い申し上げます。

本日、御臨席いただきました御来賓のみなさま、あらためて御礼申し上げます。今後とも、本校教育活動への御理解及び御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

十二回生のみなさんの今後の益々のご健勝とご活躍を祈念し、式辞といたします。あらためまして、みなさん卒業おめでとうございます。

令和八年 二〇二六年 三月二日

神戸大学附属中等教育学校 校長 高木 勝久